

## 生徒心得（校則）を制定した背景や趣旨について

本校の教育目標には校訓「自立・創造・飛躍」の下、創造性豊かな人間を育成するとあり、さらに、本校生徒心得の前文には、「生徒は、本校の校訓、教育目標をよく理解し、その実現に向けて高校生活に全力で取り組む。また、規律ある態度を身につけ、揺るぎない自己を確立し、夢を育み、さらに確かな自己実現を目指す」と記載されております。これらに基づいて、本校の生徒指導規程は制定されました。

### 1 生活規程

生徒1人1人が個性的な存在として尊重され、柏の葉高等学校の生徒としての自覚を持ち、ホームルームで安全かつ安心して教育を受けられるように互いに配慮し、他人に迷惑をかけない生活態度の醸成を図る。

### 2 生徒の活動時間に関する規定

この規程は、部、同好会、各種委員会及び団体活動を行うクラス等の活動時間に関するものであり、時間厳守や活動期間に対する意識を持たせる。

### 3 服装規程

生徒が身につけるべき基本的な生活習慣も含めて、生徒指導の方針や基準に一貫性を持たせ、明確にし、具体化したものである。学校の教育目標を達成するための各々の取り組みについて足並みを揃えるために、年度当初に「生徒指導方針および確認事項」を作成し、学年によってバラツキが出ないようチーム柏の葉として取り組む。

### 4 自転車通学規程

柏の葉高等学校の生徒として、交通社会の一員としての自覚と基本的な交通ルールやマナーを身につけさせるとともに、歩行者に対する保護意識を醸成し、事故の防止を図る。

### 5 部室使用規程

集団生活の中でよりよい人間関係を築き、それぞれが個性や自己の能力を生かし、互いの人格を尊重し合って生きることの大切さを自覚しながら、部室を管理する責任を学ぶ。

### 6 携帯電話使用規程

携帯電話を使用する時間、場所をわきまえるとともに、インターネット・リテラシーの向上を促し、情報モラルおよび規範意識の向上を図る。

### 7 合宿及び遠征規程

健全な心身の発達と、集団としての連帯意識や安全に対する意識を高め、集団や社会の形成者としての望ましい態度や行動の在り方を学ぶ。

### 8 運転免許等に関する規程

運転免許取得に関する事項は、学校や地域の状況、社会の変化等を踏まえて、絶えず見直しを行うことが求められるが、人命尊重の観点から条件付きで定めたものである。

### 9 アルバイト規程

規則正しい学校生活を送ることが基本であるが、様々な事情があることを考慮し、教育的配慮の観点から条件付きで定めたものである。